

どんな食べ物に入りたいかな？

1/26 市民交流センター

絵本作家の柴田ケイコ先生を講師に、平成30年度市おはなし会研修講座が行われました。「自分が絵本の中のしろくまくんならどんな食べ物に入りたいかな？」というワークショップがあり、絵を描きながら親子で盛り上がる姿が見られました。参加者からは、「家族みんなで真剣にお絵かきができて楽しい時間でした」という感想も聞こえてきました。



▲絵本「おいしそうなしろくま」でおなじみの柴田ケイコさん



▲「好きな食べ物の中に入ったらどんな気持ちかな？」と想像を膨らませます

みとよHOTほっとNEWS

デイリー版ほっとニュースは市ホームページで



▶仁尾中学校吹奏楽部の演奏もありました

仁尾の冬を彩るイルミネーション

2/9 市民センター仁尾周辺

冬の恒例行事になっている「バレンタインイルミネーション in NIO 2019」。点灯セレモニーでカウントダウンとともに約3万3千球のLEDが点灯すると、訪れた人からは歓声が上がっていました。



▲光の馬車は絶好の写真スポット！

地域の活性化をめざして

1/29 三豊市役所

市と東京海上日動火災保険株式会社が包括連携協力に関する協定を締結しました。今後は、相互の人的・知的資源を有効に活用しながら、市民生活の向上や観光産業の確立に向けて取り組んでいきます。

三豊市と東京海上日動火災保険株式会社との包括連携協力に関する協定締結式



アサギマダラをよぼうプロジェクト

1/24 比地大小学校

2,000km以上移動する蝶のアサギマダラをよぼうと活動している比地大小学校の4年生が、地域の皆さんと一緒に、アサギマダラが好む花であるフジバカマの株分けを行いました。花が咲く10月にたくさんのアサギマダラに会えるといいですね。



パラリンピック卓球選手から学ぶ

1/25 大見小学校

パラ卓球選手として活躍する皆見信博さんを講師に迎えて、人権講演会が開かれました。皆見さんは、自身と卓球の出会いや、世界大会での思い出の話を通して、児童たちに夢を持つことの大切さを伝えました。



◀4～6年生の代表者との卓球の実演。「皆見さんも上級生も強いな～」と下級生が見守ります



▲「私は、卓球で夢を持ってここまでできました。皆さんも何でもいいで夢を持って、悔いのない人生を送ってください」と話す皆見さん



育てたお米をいただきます！

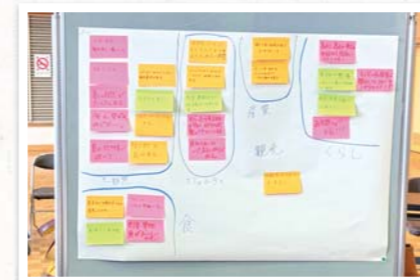
1/31 下高瀬小学校

年間を通して米作り体験に取り組んできた下高瀬小学校5年生が「感謝の集い」を行いました。児童たちは育てたお米と地元で採れた野菜を使って4品の料理を作り、米作りでお世話になった下小ファームの皆さんに振る舞いました。



▲自分たちで育てたお米のおいしさはひとしお。にっこり笑顔でいただきます！

▶食後に行われた米作りの学習発表会。5月のもみまき、6月の田植えと、体験を振り返ります



◀市の持つ魅力を各自が付箋に書き出し、グループごとに「産業」「観光」などのジャンルに分け、アイデアをまとめました

市民みんなで取り組むまちづくり

1/27 みとよ未来創造館

第1回目の「まちづくりに関する市民ワークショップ」が行われました。31人の市民が参加し、市の魅力を活かすための方法や市の将来像について話し合いました。計3回のワークショップを通して、意見交換や議論を進め、市の重要な計画づくりに反映していきます。



▲「豊かな食文化を活かしたい」「休耕田を活用できないだろうか」など、さまざまな意見が飛び交いました